

第10回ひろしま街づくりデザイン賞

URBAN
DESIGN
AWARD
HIROSHIMA

□広島市企画総務局企画調整部都市デザイン担当

ホームページURL：広島市ホームページ（<http://www.city.hiroshima.jp>）→まちづくり→都市デザイン→ひろしま街づくりデザイン賞

部門賞

建築物・工作物部門

三滝の家



緑化部門

森の工房AMA



街並み部門

アーバンビューグランドタワー



サイン・アート部門

平和の門－広島－



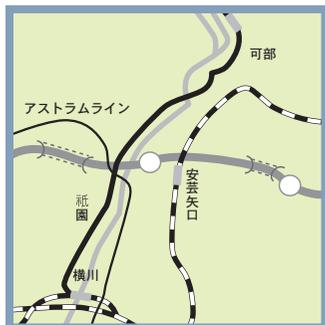
まちづくり活動部門

市民による森づくりで身近な環境整備



まちづくり活動部門

日本最初の国産バス復元と活用



夜景づくり部門

NTTクレド基町ビル ～ウインターイルミネーション～



水の都ひろしま部門

京橋川「水辺のオープンカフェ」



水の都ひろしま部門

水面上映会（川が映画館になる）



三滝の家（建築物・工作物部門）



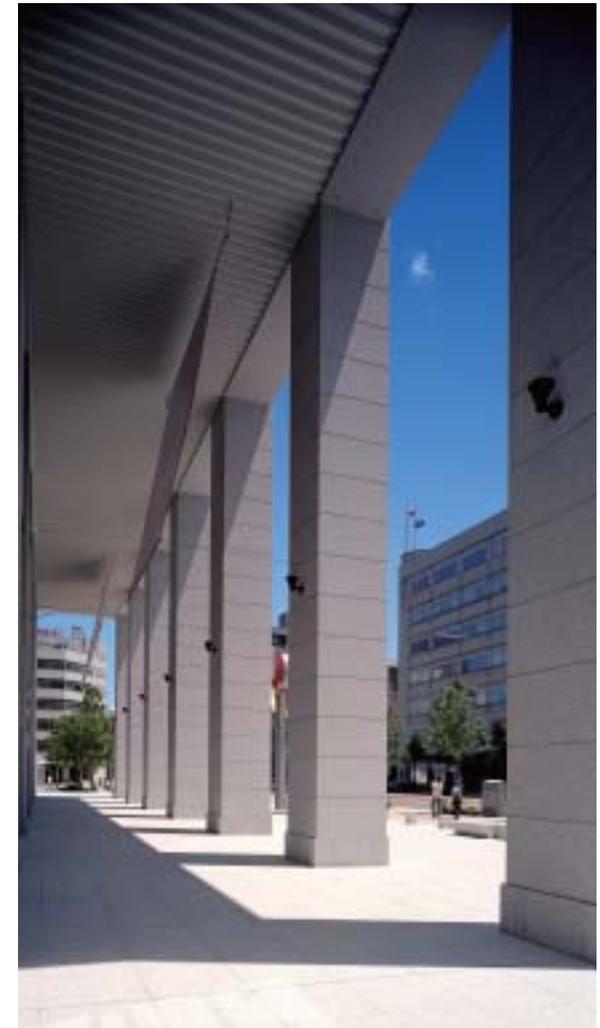
所在地 / 西区三滝本町一丁目4番20号 施主 / 西川史江 設計者 / (株)古本建築設計 古本竜一 施工者 / 日成建設(株) 造園 / (株)ランテック 概要 / 専用住宅 鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建 建築面積 : 271.70㎡ 延床面積 : 476.46㎡ 完成時期 / 平成16年6月 選考理由 / 斜面敷地であるが、その起伏の変化に素直に対応しており、鉄筋コンクリートでありながら樹木とうまく調和をとり和風の雰囲気仕上げています。デザインがシンプルで美しく、打放しコンクリートも威圧的でないなど、周囲の環境に配慮して建設した結果、周辺に柔らかく溶け込んでいる点が評価された。

森の工房AMA (緑化部門)



所在地 / 安芸区矢野東二丁目4番22号 施主 / 社会福祉法人 安芸の郷 設計者 / 美建・設計事務所 施工者 / 正田建設(株) 概要 / 知的障害者授産施設(通所)、精神障害者授産施設(通所) 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上1階地下1階建 建築面積 : 771.55㎡ 延床面積 : 993.62㎡ 屋上緑化面積 : 816.98㎡ 完成時期 : 平成15年9月 選考理由 / 単なる屋上緑化というだけでなく、ブルーベリーを植えるなど施設を利用する人たちの活動と結びついている点、梅雨の時期に地下へ雨水を貯め、夏の間それを利用し環境共生というテーマを実現している点が評価された。建物自体も、庭での地域への開かれた活動、利用者の場所やあり方などに配慮されており、山の辺という場にふさわしく、質の高いおらかなデザインとなっている。

アーバンビューグランドタワー（街並み部門）



所在地 / 中区上八丁堀4番1号 施主・設計者 / (株)アーバンコーポレイション 設計者 / (株)坂倉建築研究所 施工者 / 五洋建設(株)中国支店 概要 / 共同住宅、事務所、店舗 鉄筋コンクリート造 地上43階地下1階建 建築面積 : 2,962.65㎡ 延床面積 : 55,442.21㎡ 完成時期 / 平成16年4月 選考理由 / 広島街並みへ多様性、拠点性のあるランドマークを付加するとともに、公開空地、ギャラリー、飲食店、スーパー等の利用により、住人だけではなく、他の地域からの誘引力を持っている点、広島県立美術館付近への線的なつながりをつくり出している点が評価された。冬季には青い光で高層ビルの周囲をクールに演出しており、広島デルタの中で都会的な存在感を持つ建物となっている。

平和の門 - 広島 - (Les Portes de la Paix - Hiroshima -) (サイン・アート部門)



所在地 / 中区中島町 (平和大通り歩道緑地帯部分) 施主 / 平和の壁委員会 設計者 / ジャン・ミシェル・ヴィルモット 施工者 / (株) 大林組広島支店 概要 / モニュメント 鉄骨造 完成時期 / 平成17年7月 選考理由 / 存在感、品格、表現力、社会性、街並みの中にある美しさ、周辺自然色との調和に優れており、平和記念公園にふさわしい格調の高さという点で評価された。ドームから海へと続く南北の軸の形成に寄与するアートであるとともに、平和のサインとしてその中に込められたメッセージとしての存在感は大きく、夜には上品な光で照らされ、国際都市と平和をキーワードとした広島のイメージに沿ったデザインとなっている。

市民による森づくりで身近な環境整備（まちづくり活動部門）



活動地域 / 広島市及び周辺地域の森林 活動団体名（代表者） / もりメイト倶楽部 Hiroshima（会長 見勢井誠） 活動内容 / 荒廃した森を少しでも改善するため、「里山づくり・学ぼう・磨こう・楽しもう」をモットーに森の手入れを行っている。月一回の例会活動以外に、森林所有者の注文に応じ、出前で間伐を行う「出前林業（間伐）部会」、地域と交流しながら炭焼きや自然体験学習など、いろいろな里山づくりを行う「里山部会」、間伐材を利用してベンチなどを製作・販売する「クラフト部会」の3つの部会を中心に民有林で活動を行っている。 活動開始時期 / 平成9年4月 選考理由 / 森林の手入れをして里山を再生すると同時に、間伐材を活用して地域や学校へ還元することで、市民参加型の環境保全の重要性を訴えている点が評価された。また、取り組み自体の広域性や交流活動の開放性、継続性といった活動実績や各地への貢献度も大きい。

日本最初の国産バス復元と活用（まちづくり活動部門）



活動地域 / 横川～長束・祇園～可部 活動団体名（代表者） / 広島かよこバス活用委員会（会長 水戸川旭） 活動内容 / 明治38年に横川～可部間を運行した日本最初のバスを横川、長束、祇園、可部のまちづくりのために活動している団体。日本最初のバスを活用し可部街道の活性化を図る。広島に住民主導の新しい祭りを生み、定着させる。広島にバスの記念日を譲ってもらう。という3つの目的を掲げ、これまでフラワーフェスティバル参加、かよこの嫁入り祭、京都B級観光地キャンペーンを行ってきた。 活動開始時期 / 平成16年11月

選考理由 / 多くの市民、企業、大学などの協働により、経済的、人材的に自立した活動を展開しており、バスの復元、映画制作など企画から実行まで広範囲にわたり市民の力を最大限に活かしている点が評価された。また、広島横川という街を全国にアピールするパワーを感じるとともに、限定的な地域に留まらず他地区との交流を積極的に行なう活動には、今後も斬新な発想とアクティビティが期待できる。

NTTクレド基町ビル～ウインターイルミネーション～（夜景づくり部門）



所在地 / 中区基町6番78号 施主 / NTT都市開発(株) 中国支店 設計者 / (株)中国広告通信社 施工者 / (株)グリーンディスプレイ 概要 / 開業以来「広島冬の風物詩」として定着した基町クレドクリスマスツリーを、今回はLEDのピュアな光でエレガントに彩り、パセーラ3階のブリッジには美しい“光のアーチ”も架けた。また、基町クレドふれあい広場周辺一帯には、“天使の街”と題したライトアップを展開した。完成時期：平成6年4月 選考理由 / 街の中心に位置し、賑わいを象徴する「灯り」「季節表現」のシンボルとして定着しはじめている。品格ある美しい夜景を表現し、これまで継続して様々なバージョンのライトアップを行っており、地域の認知度も非常に高い点が評価された。寒い季節にありながらも、周囲に暖かさを与えるイルミネーションは、存在感が大きい。

京橋川「水辺のオープンカフェ」（水の都ひろしま部門）



活動地域 / 中区橋本町11番 活動団体名(代表者) / 水の都ひろしま推進協議会(会長 杉恵頼寧) 活動内容 / 水辺の魅力を生かしたまち「水の都ひろしま」の実現に向けた取り組みの一環として、国土交通省の「河川利用の特例措置」を受けて、民間事業者が営業するオープンカフェを設置している。水辺の開放感を生かした、上質で落ち着いた雰囲気づくりに留意し、来訪者や市民が気軽に憩える空間として定着させることを目指している。 活動開始時期 / 平成17年10月 選考理由 / 河川空間に常設店舗を設置した全国初の試みであり、斬新なアイデアと「水の都ひろしま」を象徴するのにふさわしい取り組みとして評価された。人を川へと近づける空間づくりの第一歩として取り組まれ、水辺で憩う楽しさを日常生活の中で体験させてくれるきっかけとなる事例であり、今後のひろしまへの集客力を高める誘導活動の一つといえる。

水面上映会（川が映画館になる）（水の都ひろしま部門）



活動地域 / 原爆ドーム前の元安川の川面 活動団体名（代表者） / イマジン・プロジェクト・ヒロシマ（実行委員長 山根進） 活動内容 / 水の都ひろしま推進事業の一環として、8・6前夜に原爆ドーム前の元安川に「旧広島県産業奨励館」の3Dをビデオで投写し、川面に映像復元する。被爆前の姿と同時にみせる事により8・6のビフォア - & アフターが再現され、なにがどう壊されたのか、原爆投下の意味を世界に問いたすイベント。 活動開始時期 / 平成16年8月 選考理由 / 広島の水の川の特徴を捉えた手法、技法により水面をスクリーンとした全国でも類をみないおもしろい試みであり、周辺の夜景との調和が幻想的な雰囲気をかもし出した。ヒロシマのシンボルである世界遺産を水面に再現し、美しく演出するという平和都市広島ならではのイベントの展開であることが評価された。 撮影 / 松浦康高

奨励賞

株式会社ヒューマックス本社社屋



みやた眼科



東亜祇園ニュータウン『春日野』



大手町四丁目1番地区第一種市街地再開発事業



株式会社ヒューマックス本社社屋



所在地 / 南区東本浦町10番22号 施主 / (株)ヒューマックス
設計者 / (株)杉田三郎建築設計事務所 施工者 / 戸田建設(株)広島支店、豊国工業(株) 概要 / 事務所 鉄筋コンクリート造 地上3階建 建築面積 : 288.33㎡ 延床面積 : 716.07㎡ 完成時期 / 平成15年11月 選考理由 / 自然・環境に配慮し、ソーラーパネルを建築物の中に取り入れ、かつそのパネルを利用して建物全体のデザインをモダンに仕上げている点が評価された。また、道沿いに建設した結果、街ゆく人たちの環境に対する意識を高めるきっかけとなり、今後の街づくりに貢献していくことが期待される。

みやた眼科



所在地 / 西区井口四丁目2番34号 施主 / みやた眼科 宮田章
設計者 / 窪田建築アトリエ 窪田勝文 施工者 / 野村建設(株)
概要 / 診療所、住宅 鉄骨造 地上3階地下1階建 建築面積 : 191.49㎡ 延床面積 : 562.04㎡ 完成時期 / 平成17年3月
選考理由 / 先進的で斬新なデザインであり、形状、材質、色調の美しさという点で評価された。街ゆく人たちの興味をひくモニュメント的な要素を持っており、街への開放感あふれる建物である。

東亜祇園ニュータウン『春日野』



所在地 / 安佐南区山本新町 施主 / 東亜地所(株) 設計者 / (株) 日野原富士コンサルタント 施工者 / 前田建設工業(株)、清水建設(株) 設計・施工者 / (株)山田農園(公園部分) 概要 / 住宅団地
 全体面積 : 1,033,761㎡ 公園・緑地部分面積 : 63,818㎡ 完成時期 / 第1工区 : 平成15年9月、第2工区 : 平成17年4月 選考理由 / 周囲の自然環境との調和に配慮し、季節感を意識しながら植物素材を上手く活用しているため、殺風景になりがちな広大な公園にゆとりの空間が生まれている。民間による開発でありながら、共有のオープンスペースに力を注いでいる点も大きく評価された。

大手町四丁目1番地区第一種市街地再開発事業



所在地 / 中区大手町四丁目1番 【NTT DoCoMo 中国大手町ビル】 施主(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ中国 設計者 / (株)エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ中国支店 施工者 / [建築] (株)大林組、大成建設(株)、(株)鴻池組、(株)大本組、[電気] (株)協和エクシオ中国支店、(株)中電工広島支社、(株)東電通中国支店、栗原工業(株)中国支店、[機械] 日比谷総合設備(株)、(株)ダイダン、三機工業(株)、大成設備(株) 概要 / 第一種通信用建物 鉄骨造(地下部鉄骨鉄筋コンクリート造)地上21階地下2階建 建築面積 : 1,422.80㎡ 延床面積 : 28,732.26㎡ 完成時期 / 平成16年4月 【大手町平和ビル】 施主 / 大手町四丁目1番地区第一種市街地再開発組合 設計者 / (株)アール・アイ・イー広島支社 施工者 / (株)大林組、(株)共立 概要 / 事務所、店舗 鉄骨造(地下部鉄骨鉄筋コンクリート造)地上11階地下2階建 建築面積 : 1,139.99㎡ 延床面積 : 13,800.19㎡ 完成時期 / 平成16年6月 選考理由 / 高層ビルの一階廻りに空地を確保し、すっきりとしたデザインとなるように配慮されている点、テナントを集合させ複合的な活用がなされている点が評価された。本市のランドマークとして街のシンボルとなり、今後の街づくりを引っ張っていく存在となることが期待される。

あなたが選ぶ景観賞 - それがひろしま街づくりデザイン賞です。

ひろしまの街は山、川、海の豊かな自然に囲まれ美しい街をつくる条件にめぐまれた環境にあります。

広島市では、魅力ある街づくりを進めるために、平成6年度（1994年度）から「ひろしま街づくりデザイン賞」を実施しています。これは、市民の皆さんから、良好な景観の形成に貢献している建物や看板、活動などを募集し、その中から優れたものについて表彰する制度です。

平成12年度（2000年度）までは毎年度実施していましたが、平成13年度（2001年度）から、募集から選考・表彰までを2か年度にわたって実施しています。

また、平成13年度（2001年度）の募集（第8回）から、特別表彰「水都ひろしま部門（第9回からは「水の都ひろしま部門」に名称変更）」を追加したほか、部門賞のほかに「奨励賞」を設けるなど、広島らしい魅力を創造している物件や活動を幅広く表彰できるようになりました。さらに、第10回の今回からは「夜景づくり部門」を追加し、全7部門で募集を行いました。

賞の種類

次の7つの部門賞があります。総合的にみて特に優れたものは大賞として、また、部門賞の選外になったものについても広島らしい良好な景観の形成に貢献すると認められるものは奨励賞として表彰します。

部門	対象	要件
建築物・工作物	街並みに調和し、優れたデザインのもの 例：集合住宅、戸建住宅、商業ビル、ホテル、改修により魅力を増した店舗など	おおむね3年以内に完成、改築、改装したもの
緑化	通りに配慮し、街に潤いを与えているもの 例：集合住宅や商業ビルなどの緑化、戸建住宅や店舗のガーデニングなど	年数条件なし
街並み	魅力ある街並みをつくり出しているもの 例：遊歩道、住宅団地、商店街、オープンスペースなど	おおむね3年以内に完成、改装したもの
サイン・アート	街角や建物などのアクセントになるもの 例：街角の彫刻、塀や仮囲いに描かれた絵、広告看板、店舗の日よけ、ラッピングされた公共交通機構など	おおむね3年以内に完成、改装したもの
まちづくり活動	町内会や地域住民など複数の人々がかかわって行われている活動 例：地域の魅力を高める活動、緑化推進活動、イベント開催など	おおむね5年以上継続している活動
夜景づくり	灯りにより建物や通りを演出し、美しい夜景をつくり出しているもの 例：ライトアップされた建物や彫刻、樹木、住宅団地、商店街、又はその活動など	年数条件なし
水の都ひろしま	本市の資源である川や海に配慮し、魅力ある水辺をつくり出しているもの 例：水辺に顔を向けた建物や、水辺を舞台とした活動など	年数条件なし 但し、建物はおおむね3年以内に完成、改装したもの

応募の対象

広島市内で良好な景観の形成に貢献しているもの。

ただし、建築関係法令などに適合していない物件、公共施設、これまでにひろしま街づくりデザイン賞を受賞した物件や活動で、同部門への応募は除きます。

募集

2年に一度、年度当初ごろから募集します。区役所・区民文化センター・公民館等の市関連施設や大学、専門学校などの建築関係学科へのポスター掲示、リーフレット兼応募用紙の配布。市の広報紙、ホームページでの告知。市政記者クラブへの情報提供等を行っています。

応募方法

- ・自薦・他薦は問いません。一人何点でも応募できます。
- ・応募用紙に必要事項を記入し、写真貼付けのうえ、ポジ又はネガフィルムを同封し、郵送してください。なお、これらの写真は返却しませんので、ご了承ください。
- ・応募物件等が受賞した場合は、応募写真を広島市発行の刊行物や広報誌などに使用させていただきます。
- ・Eメールでも応募ができます。

審査・発表

ひろしま街づくりデザイン賞選考委員会による写真選考、現地視察、最終選考を経て選考（委員による得点投票及び協議により決定）します。審査の結果は募集の翌年度（7月頃）に発表し、表彰式を行います。受賞物件の施主、活動団体には、表彰状と銘板を、設計者、施行者等には表彰状を贈呈します。

参加賞

応募いただいた方全員に、記念品と受賞物件等をまとめたパンフレットをさしあげます。

その他

これまでの受賞物件をパンフレットにまとめ、都市デザイン担当の窓口で配布しています。また、デザイン・建築関係のイベントでPR用パネル展示を行っています。

ひろしま街づくりデザイン賞について



広島市長
秋葉 忠利

広島は、南北に流れる幾筋もの川、緑豊かな平和大通り、瀬戸内海の多島美、青垣の山々など、かけがえのない都市景観を有しています。

「ひろしま街づくりデザイン賞」は、魅力的な広島の景観をつくり出していくため、街並みと調和した建築物や街に潤いを与えている緑、地域の魅力を高める活動などを、自薦、他薦により募集し、表彰する制度です。

第10回目を迎える今回は、灯りにより建物や通りを演出し、美しい夜景をつくり出している建物や彫刻などを対象にした「夜景づくり部門」を新設しました。その結果、多くの応募があり、これまで気付かなかった広島の新鮮な顔を発見することができました。

本賞を通じて、都市景観に対する市民の皆さんの関心が広がり、本市における良好な景観形成に向けた気運が一層高まることを期待しています。

応募期間

平成17年(2005年)6月15日(水)～8月31日(水)
(一部平成17年(2005年)6月15日(水)～12月25日(日))

応募状況

応募件数

建築物・工作物部門	97件
緑化部門	24件
街並み部門	14件
サイン・アート部門	21件
まちづくり活動部門	5件
夜景づくり部門	27件
水の都ひろしま部門	12件
合計	200件

選考過程

- (1)写真選考 平成17年(2005年)10月17日・21日
- (2)現地視察 平成17年(2005年)10月26日・11月4日
- (3)現地視察 平成17年(2005年)12月21日・27日
- (4)最終選考 平成18年(2006年) 3月 2日

表彰式

平成18年(2006年)7月20日(木)



選考委員会委員長
森保 洋之

選考総評

「ひろしま街づくりデザイン賞」が創設されて今回で10回目を迎えました。表彰物件数も今回分を含めると86件を数えるまでとなり、広島市のいろいろな所で、良好な景観の形成に貢献する建築物や活動が広がっているように感じられます。

今回は、新しく「夜景づくり部門」を創設し、全7部門で募集を行いました。そうした中、今回は全体で200件というこれまでで最多のご応募をいただき、市民の皆さんの街づくりデザインに対する関心の大きさを知らされました。

新設した「夜景づくり部門」については、初めての募集にもかかわらず、27件もの応募があり、建築物自体のライトアップ、灯りをテーマとしたイベント、住宅団地でのクリスマスイルミネーションなど、様々な物件の応募がありました。

今回は、残念ながら大賞に該当する物件はありませんでしたが全7部門で9件の部門賞と4件の奨励賞で合わせて全13件が選考され、結果として過去最多の受賞数となりました。「サイン・アート部門」を受賞した「平和の門」は、オブジェとしての存在感、品格、格調の高さや夜間の上品なライトアップの美しさだけでなく、その中に込められたメッセージ性も含めて、国際・平和・文化をキーワードとするヒロシマを象徴する作品であるという点で、部門賞の中でも特に高く評価されたことは特記しておきたいことです。

今後は、こうした優れた成果が他の様々な取組への刺激や励みとなり、より一層個性と魅力ある街づくりへと発展していく契機となることを期待しています。

選考委員

委員長	森保 洋之	広島工業大学環境学部教授
委員	大森 豊裕	近畿大学工学部助教授
	谷川 圭子	ヒロシマフラワーカレッジ主宰
	友川千寿美	シネマ・キャラバンV.A.Gプランナー
	中川 圭子	市民公募
	中越 信和	広島大学大学院国際協力研究科教授
	中村 隆行	ひろしまNPOセンター事務局長
	原田 佳子	広島女学院大学生生活科学部教授
	秀浦 純治	株式会社秀浦ディスプレイ
	平田 圭子	広島工業大学環境学部助教授
	正本 大	市民公募
	三島 久範	広島県建築士会広島支部 まちづくり委員会 委員長
	吉田 幸弘	広島市立大学芸術学部助教授

